

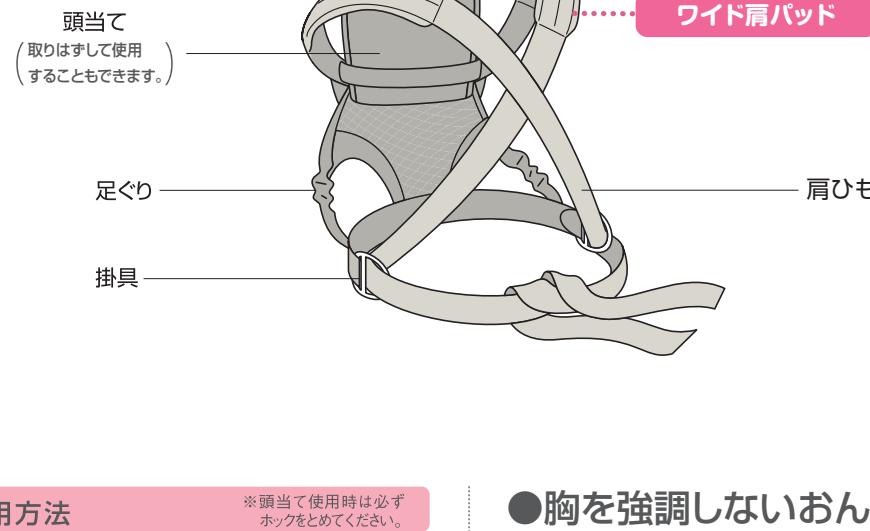
取扱説明書

●ご使用の前に本書をよくお読みのうえ正しくお使いください。また、取扱説明書は大切に保管してください。

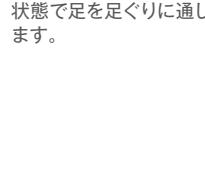
●本品を他の方にお譲りになるときには、必ず取扱説明書もあわせてお渡しください。

抱っこひもの耐用年数は、購入日より3年間となります。

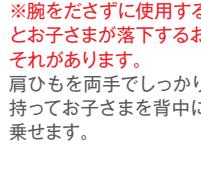
●解説図



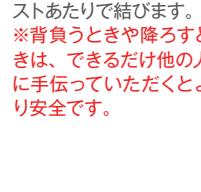
おんぶのご使用方法



お子さまをソファなどに寝かせるか、座らせた状態で足を足ぐりに通します。



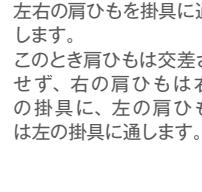
お子さまのわきの下に肩ひもをあて、腕をだします。
※腕をださずに使用するお子さまが落すことがあります。
肩ひもを両手でしっかりと持つお子さまを背中に乗せます。



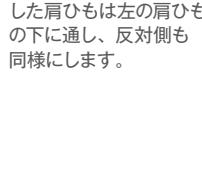
肩ひもを胸の位置で交差させて掛具に通し、ウエストあたりで結びます。
※背負うときは、できるだけ他の人に手伝っていただくとより安全です。

※頭当て使用時は必ずホックをとめてください。

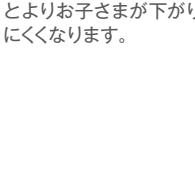
●胸を強調しないおんぶのしかた



①～②はおんぶのご使用方法と同じです。
左右の肩ひもを掛具に通します。
このとき肩ひもは交差させず、右の肩ひもは右の掛具に、左の肩ひもは左の掛具に通します。



肩ひもを胸の前で交差させます。右の掛具に通した肩ひもは左の肩ひもの下に通し、反対側も同様にします。



胸の上で結びます。
なるべく高い位置で結ぶとよりお子さまが下がりにくくなります。

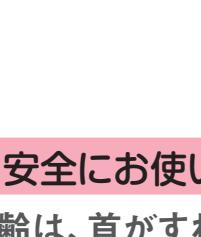
たて抱っこ対面のご使用方法



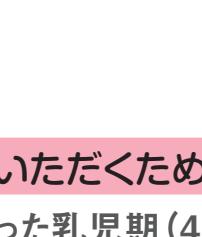
お子さまをソファなどに寝かせるか、座らせた状態で足を足ぐりに通します。



お子さまを使用者のひざに座らせた状態で、わきの下に肩ひもをあて、腕をだします。
※腕をださずに使用するお子さまが落すことがあります。



肩ひもを背中で交差して前に回します。
※このとき必ずお子さまを片手でささえください。



肩ひもを掛具を通してお子さまの位置を決めてから腰の後ろでひもを結びます。
肩ひもはウエストより高い位置で結ぶとお子様が安定します。

※頭当て使用時は必ずホックをとめてください。

おんぶのご使用方法動画



胸を強調しないおんぶのご使用方法動画



たて抱っこ対面のご使用方法動画



安全にお使いいただくために

ご使用いただけるお子さまの月齢は、首がすわった乳児期(4ヵ月頃)～24ヵ月(体重13kg)まで

⚠️警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- お子さまが開口部から落下するおそれがあります。身体を傾ける際には、お子さまが落下しないよう手で支えてください。また、頭が下向きにならないよう腰を曲げるではなく、膝を曲げるようにしてください。
- 肩ひもは必ず掛具に通し、使用者の身体に合わせてきつめに結んでください。
お子さまが落すことがあります。
- 使用中に大きく前かがみしないでください。お子さまが滑り落ちる可能性があります。
- お子さまの気道をふさぐことがないなど、状態に注意しながら使用してください。
- 早産兒及び呼吸器疾患等のあるお子さまへは使用しないでください。
ご使用については医師に相談してください。

⚠️注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容を示します。

- 着脱時は、可能な限り低い姿勢や安全な場所で行うようにしてください。
他の人に介添えいただくより安全です。
- おんぶ時は、目が届きにくになりますので、特に注意してください。
- 使用前には、やぶれ、ほつれ、傷、掛具などが破損していないか確認してください。
また、破損している場合は使用しないでください。
- 装着後も緩みがないかを確認してください。
- 抱っこ時は、お子さまの頭で前方、特に足元の視界が妨げられないよう装着し、歩行時も注意してください。
- 抱っこ時は、肩ひもは背中で交差して使用してください。
- バックルや掛具の開口部またはすき間にお子さまの手指を入れないように注意してください。
すき間に指が入って抜けなくなったり、傷害の危険性があります。バックルがある製品は、未使用時もバックルが開口していないよう、はめ込んでおくようにしてください。
- 授乳後30分間位はおなかを圧迫することがあり、消化吸収を助けるために、使用しないでください。
- 連続して使用する時は、体温の変化や装着状況を確認する必要があるため、2時間以下の使用してください。
- 体温がすぐれない時や、身体に痛みを感じる時は、使用しないでください。
- 飛行機、車、自転車、バイクでは使用しないでください。
- 料理、家事の時は、おんぶで使用してください。火気に注意し、使用中に大きく前かがみしないでください。また、思わぬ事故につながるおそれがあるため、抱っこでの使用はしないでください。
- 汗や水で湿った状態で強い摩擦をうけると、他に移染するおそれがあります。
- 直射日光のあたる場所に保管しないでください。また車内など高温になりやすい場所での保管はしないでください。(劣化や変色ことがあります)

洗濯についてのご注意

- 洗濯については製品に縫い付けの組成表示ラベルをご参照ください。
- 色落ちする場合がありますので、他の洗濯物とは別けて洗ってください。
- つけ置き洗いも選けてください。
- 洗濯ネットに入れて洗ってください。
- バックルが付いている製品は、バックルをとめてネットに入れてください。
- 軽い汚れの場合は、湿らせた布で汚れた部分をたたくようにして落としてください。
- 漂白剤、蛍光増白剤入りの洗剤は使用しないでください。
- 脱水機、乾燥機の使用はしないでください。樹脂部品が破損するおそれがあります。

点検について

ご使用前に、バックルなどの樹脂部品が破損したり、ベルトや生地などに破れ、ほつれ、傷がないことを確認してください。

異常がある状態で使用すると、事故につながるおそれがあります。

SGマーク制度について

SGマークは、製品安全協会が定めるSG基準に適合するものとして認証された製品に表示される安全・安心マークです。SGマーク付きの製品の欠陥により、人身被害が生じたと認められる場合、製品安全協会が事故原因、被害の程度などに応じて、賠償措置を実施する制度です。抱っこひもの場合は、購入日より3年間となります。

●賠償についてのご注意

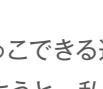
SGマーク付き製品そのものが故障したとしても、その品質について保証するものではありません。あくまでも傷害などの身体的な損害(人的損害)について賠償する制度です。

●製品の欠陥により事故が起きた場合

事故が起きたら、すぐに製品安全協会へ連絡してください。(原則として事故発生日から60日以内に連絡してください。)

●事故の届出に必要な項目

- 事故の原因となったSGマーク表示の製品 (製品の名前、ロット番号、購入先、購入年月日)
- 事故発生の状況 (事故発生年月日、事故発生場所、事故発生状況)
- 被害の状況 (被害者の氏名、年齢、性別、住所、被害の状況)



製品安全協会
東京都台東区竜泉2-20-2
ミサワホームズ三ノ輪2階
TEL 03-5808-3300

“親子の愛情は、抱っこひもでさらに深まる” 私たちが信じ続ける思いです。



大切な赤ちゃんが生まれて、パパ・ママがまず初めてに行うこと。
それは抱きしめること。まだ目が見えない赤ちゃんを安心させる一番良い方法です。赤ちゃんが大きくなてもパパ・ママに抱っこを求めるのは、触れることが一番の安心と幸せにつながっているからです。

赤ちゃんが大きくなても楽に抱っこできる道具、それが“抱っこひも”。
この抱っこひもをより良い物にしようと、私たちは日本で一番長い時間“抱っこひも”に取り組んできました。

抱きしめるのは、愛情です。

今まで、そしてこれからも変わらない、「抱きしめる」という親から赤ちゃんへの愛情。そんな愛情がしっかりと赤ちゃんに伝わるように、ラッキー工業はより良い抱っこひもづくりに取り組み続けます。

より最適な抱っこひもで、より快適な育児を

抱っこひもは、お子様の月齢や使う目的、生活環境によって最適な抱っこひもが変わります。

より最適な抱っこひもをお使いいただけるように様々な種類の抱っこひもを取りそろえています。

抱っこひもの選び方など情報満載なラッキー工業HPにお立ち寄りください。

☆最新の抱っこひも情報やプレゼントについては

ラッキー工業公式facebookページへ!

抱っこひも以外の商品のご紹介や子育て情報が満載です。

ラッキー工業HP

<http://www.lucky-baby.co.jp/>



ラッキー工業facebook

<https://www.facebook.com/luckykogyo/>

